

チームテンカボール

キャッチの仕方によってポイントが変わるボールスロー&キャッチのゲーム。制限時間内にどれだけポイントを獲得できるかを楽しみます。取りやすいようにスローして、高得点を稼げるキャッチを続けてみよう。

【人数】1チーム4人

【隊形】仲間との間隔を4m空け、1人がボールを持ち、残りのメンバーはキャッチ&スローしやすい向きで待機する。

【用具】CG推進本部公認の専用用具（テンカボール）またはソフトバレーボール。

【カウント】ボールをキャッチすることにキャッチの方法によるポイントを加算する。

■ ルール ■

- 審判の合図でスロー開始、ボールは反時計回りに送っていく。
- ボールは両手下投げでスローする。
- キャッチの際に加えるポイントは以下の通り
両手キャッチ：1ポイント
クロスキャッチ：2ポイント
カニバサミ、カエルキャッチ：3ポイント
※キャッチミス、スローイングミスの際の得点は加算しない。
- 競技時間は2分間とする。
- 1分経過したら、審判が「逆回転」のコールをするので、時計回りのスロー&キャッチでボールを送る。
- 競技時間内にアウトが発生した場合は、アウトとなった人のスローから再開する。

● アウト

- スロー動作で、両手アンダースローで投げなかった時。
- スローまたはキャッチ動作で、相手に近づいたとき。
- 両足を動かしてスローまたはキャッチをしたとき。
- 1分経過の「逆回転」コールに従わなかった時。



■ 審判法 ■

● 主 審

- 開始時に「よーい、スタート」のコールを行う。

- アウトの判定を行う。失敗や失格行為などがあった時、笛などでアウトのコールを行う。
- 競技実施中は、加算されるポイントをコールする。

●副 審

- スタートのコールと同時に競技時間を計測する。
- 1分が経過する際に「逆回転」のコールをする。
- 主審のコールするポイントをカウントする。

●審判員の位置

★ 主審 ○ プレイヤー
☆ 副審

